

京大炉におけるビーム利用のための次期中性子源検討 ワークショッププログラム

日時: 2013年1月18日(金) 9:00~16:30

場所: 京都大学原子炉実験所 事務棟大会議室

京都大学原子炉実験所では、「複合原子力科学の有効利用に向けた先導的研究の推進」が日本学術会議のマスタープランに採択され、京大炉(KUR)の運転継続と共同利用研究の活性化に向けて努力を続けております。KURは大変貴重な中性子源ですが、既に40年以上経過しており、次期中性子源の検討が必須です。ここでは、まず固定磁場強集束型(FFAG)陽子加速器の増強と中性子光学をはじめとする最新のデバイス開発を適用することで、実効中性子ビーム強度でKENSレベルのパルス中性子科学施設の実現を目指すとともに、将来のKURの運転停止に備えて、ADS中性子源の検討を進めております。本ワークショップは主にビーム利用のための中性子源について議論を行います。また前日の1/17(木)の晩18:30頃より、中性子源のみでなく、中長期的な中性子基礎基盤技術開発に関する議論等を行うための懇親会を開催します。

ご興味をもたれた皆様のご参加を是非お願い致します。

<http://www.rrj.kyoto-u.ac.jp/neutron/optics/workshop/20130118/>

研究会プログラム

セッション1 座長:川端祐司(京大炉)

9:00~9:30 日野正裕(京大炉)「京大炉の次期中性子源検討について」

9:30~10:00 安部豊(京大工)「KURRIパルス中性子源核的特性の予備評価」

10:00~10:30 石禎浩(京大炉)「FFAG加速器の現状とパルス中性子源に向けたビーム増強計画」

10:30~10:45 休憩

セッション2 座長:岩下芳久(京大化研)

10:45~11:15 田中浩基(京大炉)「BNCTのための加速器中性子源」

11:15~11:45 広田克也(理研)「京大理学部小型中性子源KUANS」

11:45~12:15 山形豊(理研)「理研の小型中性子源RANS」

12:15~13:30 昼食

セッション3 座長:日野正裕(京大炉)

13:30~14:00 三島賢二(東大ICEPP)「超冷中性子源について」

14:00~14:30 勅使河原誠(J-PARC)「J-PARC大型核破砕パルス中性子源」

14:30~15:30 鬼柳善明(北大工)「北大と世界の中小型中性子源」

15:30~16:30 まとめと議論

※上記講演時間には質疑の時間も含まれます。